



令和元年 12 月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC ならび PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号の送付にあわせて、国内委員会よりお知らせさせていただきます。今号では、10 月 6 日～10 日の間にアブダビにて開催された第 26 回世界道路会議の特集が組まれております。また、5 つの戦略計画に基づき作成されたストラテジックディレクションレポートの概要も掲載されております。道路を取り巻く昨今の国際事情や各国の経験などを含む、大変興味深い内容ですのでぜひご覧ください。

1. ROUTES/ROADS 382 号 巻頭記事



今後も継続して議論がなされていくものです。

例えば戦略テーマ B では、自動運転技術、ICT や AI の最新技術を活用した道路交通マネジメントを取り上げています。日本からは道の駅を拠点とした自動運転サービス実証実験や新東名高速道路等における隊列走行の実証実験、リアルタイムの交通情報把握や安全性向上への ETC2.0 のプローブデータ活用が紹介されています。その他、交通分野のシェアリングエコノミーとして、電車等既存公共機関とライドシェアリング等新たな交通手段を融合した Mobility as a Service (Maas) や、イギリスにおける自動運転やライドシェアリングの普及を考慮した将来交通量需要予測分析が紹介されています。

5 つの戦略テーマによるストラテジックディレクションレポートの特集には日本における将来の道路運営・維持管理の課題や、日本の最先端技術や知見が発揮できる分野を模索するうえで有益な世界各国の情報が盛り込まれています。ご一読頂ければ幸いです。

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 -- 4 頁
- ✓ 土工設計・施工マニュアル --5 頁
- ✓ 持続可能なモビリティの実現に向けて --8 頁
- ✓ 社会全体の利便性を向上させる交通政策 --10 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 --16 頁
- ✓ ベルギー国内委員会の紹介 --18 頁

【今号の特集】

第 26 回世界道路会議 (PIARC アブダビ大会)

【今号の発行にあたって】

アブダビ大会に向けて、世界各国の多くの専門家が 2016-2019 年の間に PIARC 活動に従事し、最新の技術や知見の情報を収集、議論を重ねてきました。活動の柱となる 5 つの戦略テーマは、世界各国で道路運営維持管理上重要なテーマと認識されており、

【今号の特集】

- ✓ ストラテジックディレクションレポート --21 頁
- ✓ 戦略テーマ A - マネジメントと財政 --22 頁
- ✓ 戦略テーマ B - アクセスとモビリティ --25 頁
- ✓ 戦略テーマ C - 安全 --31 頁
- ✓ 戦略テーマ D - インフラストラクチャー --37 頁
- ✓ 戦略テーマ E - 気候変動、環境と災害 --43 頁

3. PIARC 次期ターム(2020-2023)の開始

2020年より新たに4つの戦略テーマのもとに17の技術委員会及び5つのタスクフォースが設置され、4年間の新しいタームを開始します。これに先立ち、新たな活動タームのキックオフ会議が2020年1月から2月にかけてフランス・パリで開催されます。各国から技術委員ら関係者が一同に会し、4年の間活動計画などにつき議論を交わします。

4. PIARC テクニカルレポートのご紹介



今ターム(2016-2019)の技術委員会活動で作成されたテクニカルレポートをPIARCウェブサイトから無料でダウンロードいただけます。入手方法につきましては、別紙をご確認ください。

約50本ものレポートがホームページにアップされておりますが、今回はその中から以下2本のレポート概要を紹介いたします。

【レポート名】

International Development of Application Methods of De-icing Chemicals - State of the Art and Best Practice
(海外での凍結防止剤散布方式の開発状況-最新技術とベストプラクティス)

【レポート概要】

凍結防止剤散布により道路交通機能の低下を防ぐことは冬期維持管理の重要な作業の一つです。本レポートでは凍結防止剤の散布サイクルタイム、凍結路面発生前に実施する事前散布の有無、各国ガイドラインの気象/路面条件を考慮した凍結防止剤散布量について、日本を含む16カ国にアンケート調査を実施した結果をとりまとめています。また各国散布方式のケーススタディも紹介していますので、より効果的な凍結防止剤散布方式のありかたを検

討するうえでの資料として活用できます。

【レポート名】

State of the Art in Monitoring Road Condition and Road/Vehicle Interaction
(最新の路面状況測定手法/車両挙動に影響を及ぼす路面特性)

【レポート概要】

道路利用者の安全走行を確保するうえで、路面状況を点検・評価、最適な補修計画を策定することは道路維持管理上重要な作業の一つです。これら作業では正確かつ膨大な測定データの収集が不可欠となるため、世界各国では様々な最新技術を用いたより効率的な測定手法が開発、採用されています。本レポートでは光によるリモートセンシング技術(LiDAR)を使用した3次元路面状況測定技術や、近年開発が進む車両やスマートフォン搭載センサーを活用した技術等を紹介しています。またケーススタディでは、各国の舗装たわみ測定手法、エストニアでの路面データ管理の取り組み事例を紹介していますので、より効率的な路面状況測定手法を検討するうえでの資料として活用できます。

5. 今後の大会に関するご案内

第16回国際冬季道路会議が2022年2月8-11日の間にカナダ・カルガリーにて、第27回世界道路会議が2023年10月6-10日の間にチェコ共和国・プラハにて開催されます。今後の大会につきましても、会員の皆さまの積極的なご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

PIARCの活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 (日本道路協会)

安藤: ando@road.or.jp

PIARC 本部事務局

武内: jun.takeuchi@piarc.org

今年も大変お世話になりました。皆さまがお元気で良い年を迎えられますことを、また2020年が、災いが少なく、笑顔の多い1年になりますよう、心より願っております。

2020年も、世界道路協会並びに日本道路協会を何卒よろしくお願い申し上げます。

PIARC 日本国内委員会事務局